

活動報告

はじめに

道央技術士協議会では 2005 年度の活動として、2 回の見学会及び講演会と総会を企画、実施しました。以下、活動内容を簡単に報告します。

1. 2005 年 7 月 20 日 (水) 工場見学と講演会

1) トヨタ自動車北海道工場見学会

住所：苫小牧市字勇払 145 番 1

時間：13 時 30～14 時 45 分

※過去に日本製鋼所、日鐵セメント、王子製紙の工場を見学していますが、自動車工場を見学するのは、皆初めてであり、特にロボット化された生産ラインが印象的でした。

(参加 12 名)

2) 「新潟中越地震と減災技術」

(講師 松井 義孝 様)

会場：苫小牧市民会館

時間：15 時 30 分～17 時 00 分

※北海道技術士センターを通じて防災研究会副会長である松井様に講演をお願いしました。新潟中越地震の被害と救援、復旧、阪神淡路大震災の CG 等貴重な映像を見せていただき、都市防災についてわかりやすく説明していただきました。(参加 11 名)

2. 2005 年 9 月 22 日 (木) 施設見学会

1) 防衛庁技術研究本部札幌試験場空力推進研究施設

住所：千歳市駒里 1032 番地

時間：13 時 30 分～15 時 10 分

※防衛庁が 1,000 億の巨費を投じて千歳に建設した空力推進研究施設である。航空機及び誘導弾等の飛行速度に相当する亜音速から超音速までの空気流を発生させて、その空力性能を模型により試験評価する三音速風洞装置、航空機用ジェットエンジンの高空における飛行状態を模擬し、性能・機能を評価するエンジン高空性能試験装置等これだけ大がかりな試験施設がそろっているのは、世界でもここだけのことである。普段はまず目にする事のない装置である。最後に屋上から戦車、装甲車等の走行実験場をみせていただいた。1 周 2 km の道路は連続鉄筋コンクリート舗装で、横目地がないそうである。

防衛庁管轄なので出入りの手続きや監視体制は大変厳しく、当然撮影は禁止であったが、最後に研究本部前で集合写真を撮らせていただいた。(9 名参加)

3. 2006 年 3 月 23 日 (木) 講演会及び総会

1) 「下水汚泥の重力濃縮技術」

(国土交通大臣優秀賞受賞)

苫小牧市役所下水道部 成田 晃 様)

会場：グランドホテルニュー王子 (苫小牧市表町 4 丁目 3 番 1 号)

時間：18 時 00 分～18 時 30 分

※苫小牧市西町下水処理センターにおいて平成 12～13 年に導入された下水汚泥重力濃縮技術(みずみち棒)の説明である。第 7 回国土技術開発賞で優秀賞を受賞している。技術開発者は(独)土木研究所/苫小牧市/歌登町となっている。みずみち棒の設置により汚泥下部層に、高

濃度の下水汚泥を沈殿させる。その結果汚泥脱水費の大幅な削減(1,650万円/年)となった。この施設とおなじく汚泥濃縮プロセスに重力濃縮法を適用している国内の処理場は1,440ヶ所あり、そのうち1,140ヶ所で濃縮汚泥の設計目標(4%)に達していない。本技術を導入し設計目標が得られれば、濃縮汚泥の脱水にかかる電気代のみで年間17億円の縮減が可能とのことである。

2) 第15回道央技術士協議会総会

会場：グランドホテルニュー王子(苫小牧市表町4丁目3番1号)

時間：18時30分～20時00分

※センターから大谷事務局長が森事務局次長とともにこられ、最近のセンター、支部の動向や事務連絡があった。その後、情報交換会となり和

やかなうちに予定行事も終了し再会を期して散会した。(参加14名)

おわりに

以上、簡単ですが道央技術士協議会の2005年度の行事を紹介しました。なお2006年度も見学会、講演会を企画する予定です。他協議会からの参加も歓迎しますので、連絡を希望される方は下記までメール、ファックス等お願いします。

連絡先 道央技術士協議会事務局

遠藤 清武(アルファ計画株式会社)

〒059-1272 苫小牧市のぞみ町1-3-14

TEL 0144-67-6848

FAX 0144-61-2355

E-mail k.endou@alphaproject.co.jp

(文責：道央技術士協議会事務局 遠藤 清武)